

## 上郡町で近年確認された新参外来昆虫 (2)

大貝秀雄<sup>1)</sup>

筆者は先に「上郡町で近年確認された新参外来昆虫」として、7種の記録をまとめ報告した(大貝, 2023)。しかしその後も新参外来昆虫の分布拡大は途切れることなく、以下に紹介する4種を上郡町から新たに確認することができたので報告する。

ツマキトゲナシクモバチ *Lissocnemis brevipennis* (Kohl, 1906)

高田台; 1♀ (図1), 24. VIII. 2025. 体長 20mm.

採集個体は筆者宅の屋外に設置した給湯器下の地上を徘徊していたものであり、付近の地面には玉砂利をしいてあった。本種は東南アジアと南アジアに広く分布すると考えられており、国内最初の標本は岡山県倉敷市で2016年に採集された。その翌年には岡山市、兵庫県明石市でも採集され、ほかに大阪府八尾市の2016年の記録などがあるという(Matsumoto et al., 2018)。以上の過去の記録をみると、上郡町も当時から分布圏内に入っていた可能性はある。しかし、前翅中央の透明斑など雌において特に顕著な特徴をもつ本種を見過ごしていたとは考えにくいので、上郡町への進出は比較的近年のことであろうと思われる。

アメリカピンクノメイガ *Pyrausta inornatalis* (Fernald, 1885)

金出地; 1♀ (図2), 7. X. 2025. 開張 17mm.

北米原産のツトガ科の小型種で、国内では2019年に岐阜県で最初に確認された(宮野, 2020)。その後、兵庫県(島崎・島崎, 2021)をはじめ各地であいついで記録されるようになった。サルビアに強く依存する種なので、山野で見られる可能性は低いために発見が遅れたものと思われ、実際はもっと早い時期に国内の分布を拡げていたと想定される。

金出地ダムを見あげる位置にある四阿(あずまや)前にプランターで植栽されたサルビアがあったので、筆者は本種のことを思い出し、見ると約束通り花上に静止した姿を見ることが出来た。

シナチクノメイガ *Eumorphobotys eumorphalis* (Caradja, 1925)

上郡; 1♂ (図3), 4. IX. 2025. 開張 33mm.

国道沿いのコンビニエンスストア正面のガラス壁に静止していた。本種は中国南部と台湾から知られている大型のノメイガで、2020年に愛知県で初めて採集された(岩下・松井, 2022)のち分布を広げ、2023年には兵庫県ハチ北高原でも記録された(阪上, 2024)。上郡町でも既に高橋(2025)が金出地で確認している。幼虫はタケ類を食草とすることから、タケノコ産地では警戒が強められている(京都府病害虫防除所, 2024)。



図1: ツマキトゲナシクモバチ♀.



図2: アメリカピンクノメイガ♀. サルビア花上.

<sup>1)</sup> Hideo OGAI 兵庫県上郡町

モンクチビルテントウ *Platynaspis maculosa* (Weise, 1910)

高田台; 1 ♀, 5. V. 2024, 1 ♀, 8. VII. 2025 (図4). 西野山; 1 ♀, 4. V. 2025. 上郡 鈴の宮公園; 1 ♀, 14. V. 2025. 旭日; 1 ♂, 8. IX. 2025. 体長♂: 2.8mm, ♀: 2.9 ~ 3.2mm.

本種は中国, 台湾とベトナムに分布し (佐々治・谷口, 2003), 国内では 1989 年に沖縄本島で初めて採集され (松原ら, 1998), その後, 奄美大島, 九州, 四国, 本州の各地から相次いで記録され, 急速にその分布を拡大している (阪本, 2018). 本州では静岡県で最初に記録され (石川, 2011), 兵庫県でも宝塚市と西宮市から報告されている (宇野, 2021). 上郡町における最初の標本は, 筆者宅の庭に植栽するニシキギの花に集まる昆虫を調査して得られた. 翌年になって, 同地を含む町内の 4 カ所から相次いで確認されたが, その生息環境には特定の傾向を認めなかった.

本種は同属のヨツボシテントウ *Platynaspis lewisii* (Crotch, 1874) と外観が類似しているが, 翅鞘の 2 対の黒紋が大きいこと, 翅鞘外縁部の黒い縁どりははるかに細かいことなどの特徴で容易に区別できる. 筆者が過去に採集しヨツボシテントウと判断していた個体をすべて再検討したが, モンクチビルテントウは含まれていなかった.



図3: シナチクノメイガ♀.



図4: モンクチビルテントウ♀. 高田台産.

引用文献

- 石川 均, 2011. 静岡県初記録のモンクチビルテントウ. 月刊むし, (487): 46.
- 岩下幸平・松井悠樹, 2022. 中国南部からの外来種と考えられるノメイガ *Eumorphobotys eumorphalis* (Caradja, 1925) の日本からの初記録. 蛾類通信, (300): 683-684.
- 松原 豊・上野輝久・佐々治寛之, 1998. 日本未記録のモンマダラテントウ沖縄本島に産する. 月刊むし, (332): 38.
- Matsumoto, R., Miyake, H., Yamazaki, K., Aono, T. and Shimizu, A; 2018. Discovery of a new, adventive, spider wasp, *Lissoctenemesis brevipennism* in Japan (Hymenoptera; Pompilidae; Ctenocerinae). Japanese Journal of Systematic Entomology, 24(1): 95-98.
- 宮野昭彦, 2020. 日本未記録のピンク色のノメイガ. 誘蛾燈, (230): 1-2.
- 大貝秀雄, 2023. 上郡町で近年確認された新参外来昆虫. きべりはむし, 46(2): 32-33.
- 京都府病害虫防除所, 2024. 病害虫発生予察特殊報第 5 号 (シナチクノメイガ).
- 阪上洗多, 2024. ハチ北高原から得られた蛾類 3 種の採集例. きべりはむし, 47(1): 68-69.
- 阪本優介, 2018. テントウムシハンドブック. 文一総合出版, 東京. 88pp.
- 佐々治寛之・谷口昌弘, 2003. 日本新記録のモンクチビルテントウ (改称). 月刊むし, (391): 13.
- 島崎能子・島崎正美, 2021. 兵庫県高砂市でアメリカピンクノメイガを観察. きべりはむし, 44(2): 54.
- 高橋弘樹, 2025. 兵庫県西播磨地域で確認した県初記録及び記録の少ない蛾類について (1). きべりはむし, 48(2): 29-40.
- 宇野宏樹, 2021. 宝塚市の緑地公園の昆虫相—2010 年~2020 年の昆虫の記録—. きべりはむし, 44(1): 9-25.
- 宇野宏樹, 2022. 兵庫県西宮市におけるアメリカピンクノメイガの記録. 蛾類通信, (301): 5-6.
- 矢口芽生, 2021. 兵庫県淡路市でアメリカピンクノメイガを確認. きべりはむし, 44(1): 100.